

平成31年 新春初出式

八木 順一

平成31年を迎え、ならやまでも新春の活動が始まる。温度も零度を下回るか、と想像される特に寒い朝になったが、90名を超す沢山の会員が顔をそろえる。今日のメインの活動は新春初出式と10年継続会員の記念植樹式だ。特に初出式では朝早くから餅つきや七草粥の食材採りなどの準備が着々と進み、10時30分過ぎには一つ目のもち米も蒸しあがり、いよいよ餅つきのスタート。今年は黒米入りの餅も含めて4臼の餅つきが予定される。「昔とった杵づか」通りに事ははかどらず、交代で杵を振り上げる参加者の腰もふらついて定まらず、寄る年波がここでも露呈する。



しかし、それでも11時45分過ぎには餅の他七草粥等のすべての料理が準備完了。会長のあいさつ、ささやかなおとその乾杯の後、早速会食の時間が始まる。きな粉餅やおろし餅、はたまた黒米のお餅等が瞬く間にはけ、40分後には食卓の上は何もない状態になる。

「お腹を十分満たした上に、会員相互の親睦をさらに深めた」新春初出式、参加者、特に今回初めて参加したメンバーには十分満足したものになったのだろうか。楽しそうに料理を頬張り、他のメンバーと会話を交わしている表情からは「そうだ、そうだ」といった答えしか返ってこないような気がする。

この後、参加者全員で後片付けに入り、サイトも瞬く間に元の状態に戻る。こういった行事、来年もまた再来年もぜひあり続けてほしいものだ、と痛感する。

10年継続会員 記念植樹式

八木 順一

井戸八穂子さん、菊川年明さん、岸谷順裕さん、岸谷和代さん、木村慎司郎さん、塩本勝也さん、鈴木末一さん、谷川雅邦さん、森英雄さん、安川和男さん、これらの方が今年10年継続会員の表彰を受けられた方です。例年は感謝状授与をもってその功績を顕彰させていただいていたものが、こういった植樹式での顕彰、という形になって2年目を迎えることとなりました。

今年は、新春初出式の終了後に植樹式を行ったため、大変忙しい日程になりましたが、参加者がほぼ全員、徒歩や車で実りの森まで足を運び、記念植樹式に参列、という形になりました。

開会のあいさつの後、羽尻副会長からお祝いの言葉があり、今年は「富有柿」が1本植樹される旨、報告がありました。その後、継続会員を代表して鈴木さんにこの富有柿が贈呈され、早速植樹開始。今年は対象者が多かったことに加えて、他の参加者も作業に協力、瞬く間に植樹は終わりました。さらに小島さんが準備された銘板も取り付けられました。



そして、最後にこれも継続会員を代表して、鈴木さんから感謝のお言葉が述べられる。「桃栗三年柿八年」といった諺を出すまでもなく、今日ここに植えられた柿が大きく育ち、会員の舌を甘く楽しませ、さらには胃袋を十分満たすまで、元気にここで活躍して欲しいものだ、と心より願いました。10年継続会員の皆さん、本日はおめでとうございます。